

(様式 2 : 経済産業省・財務省報告用)

平成 23 年度東日本大震災に係る義援金活用事業報告書

平成 24 年 10 月 19 日
日本商工会議所

当所では、日本商工会議所を通じて、全国の商工会議所会員等から寄せられた義援金を活用し、被災者および商工業者の早期復旧・復興に資するため、下記の事業を実施した。

記

(1) 調査研究および情報資料の収集刊行に関する事業（商工会議所法（昭和 28 年 8 月 1 日 法律第 143 号。以下同じ）（同条第 3、4 号）

① 地元行政の復興計画策定に係る、専門家招聘等費用

<石巻商工会議所>

フォーラム・講演会の開催

石巻市の復興を推し進めるためには、インフラの整備が必要不可欠である。安心・安全を確保するには防潮堤・高盛土道路の整備が計画されている。しかしながら、生活・経済活動に支障を期することになることから、専門家を招聘し意見を聞いた。

① 石巻市のインフラ整備・防潮堤に関するフォーラム

日 時 平成 23 年 10 月 17 日

テーマ 石巻市のインフラ復興計画

講師 東北工業大学 教授 稲村 肇 氏

参加者 160 名

② 高盛り土道路を考える講演会

日 時 平成 23 年 12 月 27 日

テーマ 高盛り土道路を考える

講師 岩手県立大学総合政策学部 教授 元田 良孝 氏

参加者 68 名

<いわき商工会議所>

- (1) 総合エネルギー産業都市プロジェクトの推進
- (2) 放射能モニタリングプロジェクトの推進
- (3) 小名浜港背後地プロジェクトの推進
- (4) 推進するための復興情報交換会費用も含む

【 専門家 】

㈱野村総合研究所	戦略企画室	木村 靖夫 室長
	金融・社会システム研究室	広瀬 真人 室長
	上席システムコンサルタント	梅屋 真一郎 氏
	上席コンサルタント	福地 学 氏
	上席コンサルタント	原田 純一 氏

② 地元行政への震災に係る要望作成・諮問への対応、商工会議所及び管内の被害状況に係る調査費等

<宮古商工会議所>

- (1) 被害アンケート調査郵送料
- (2) 被害アンケート調査用紙代
- (3) 日商との懇談会費用

<大船渡商工会議所>

(1) 会員被災状況調査

① 第1次

調査期間 平成23年3月24日～
調査対象 1,820社
調査方法 実地確認調査、相談時間き取り調査および新聞広告等
調査内容 被害状況、事業再開意欲

② 第2次

調査期間 平成23年9月16日～10月31日
調査対象 1,786社
調査方法 調査表記入調査
調査内容 被災状況、被災施設・金額、事業再開状況、復旧・復興に向けての課題等
調査回収数 1,493社 (回収率 83.6%)

(2) 要望活動

① 沿岸部被災地区商議所連絡会設立総会・省庁への要望

日時 平成23年7月21日
場所 東京
出席者 齊藤会頭、上野専務

② 平野内閣府特命担当大臣との要望懇談会

日時 平成23年9月14日 午後4時
陳情先 平野内閣府特命担当大臣(防災)
陳情者 齊藤会頭、上野専務

③ 岩手県信用保証協会大船渡支所設置に伴う要望

日時 平成23年11月21日 午前11時30分
陳情先 岩手県信用保証協会 会長 高橋 公輝 氏
陳情者 齊藤会頭、上野専務

④ 県立職業能力開発施設設置に係る県知事要望

日時 平成23年12月1日 午後1時
陳情先 岩手県知事
陳情者 水野副会頭

⑤ 平成23年度岩手県知事を囲む懇談会

日 時 平成 24 年 1 月 25 日
場 所 盛岡
出席者 齊藤会頭、上野専務

<塩釜商工会議所>

(1) 要望活動

① 震災復興支援に関する要望

平成 23 年 5 月 25 日 日本商工会議所会頭
7 月 8 日 内閣府副大臣 (宮城現地対策本部長)
9 月 29 日 塩竈市長
10 月 17 日 内閣府大臣政務官 (宮城現地対策本部長)
宮城県知事
11 月 28 日 財務大臣

② グループ補助金申請に係る要望

平成 24 年 2 月 15 日 中小企業庁長官・日本商工会議所会頭
地元選出国會議員
3 月 12 日 塩竈市長

(2) 会員安否確認及び被害状況調査

- ① 調査期間 平成 23 年 5 月 25 日～9 月 15 日
② 調査件数 会員 1,737 件
③ 調査結果 全壊 154 件
半壊 780 件
建物被害なし (備品等はある) 304 件
被害なし 260 件
不明 239 件
(被害あり会員で廃業・休業状態 81 件)

<石巻商工会議所>

(1) 要望活動

東日本大震災により甚大な被害を受けた。石巻地域の経済界の産業及びインフラ等の復旧・復興に対して、内閣総理大臣をはじめとして国務大臣、国・県等関係機関に対して要望を行った。

要望先 内閣総理大臣・国務大臣 (国土交通・農林水産・財務・復興 他)
中央官庁 (財務省・国土交通省・農林水産省・経済産業省・中小企業
庁・水産庁・金融庁・内閣府 他)
政 党 (民主党・自由民主党・公明党・社民党 他)
民 間 (日本商工会議所・日本経済団体連合会・政府系金融機関 他)
要望内容 東日本大震災復旧・復興に関する要望

(2) 提言活動

平成 22 年 3 月に石巻市中心市街地活性化基本計画が認定された。しかしながら、東日本大震災により中心市街地は壊滅的な被害を受けた。中心市街地の街区では市街地再開発事業などを活用した新たなまちづくりを推し進めようとする動きがでて

きたことから、7月に石巻市震災復興基本計画市民検討委員会・中心市街地街づくりプロジェクトを立ち上げ、種々検討を重ね、ランドデザインを策定し、石巻市に対して提言を行った。

(3) 被害調査

震災発生から6カ月経過した9月、会員事業所の状況確認をするため、全会員を対象として郵送による調査を実施した。

- ① 調査対象 石巻商工会議所会員事業所
- ② 調査期間 平成23年9月1日～平成23年9月30日
- ③ 調査項目
 - ・被害状況
 - ・事業状況及び影響
 - ・資金調達

上記調査を実施し、会員の約7割が何らかの被災を受けている。とりわけ、湊・鹿妻、門脇・大街道、工業港、渡波、中里、中央地区の被害が大きく、一方蛇田、山の手地区の被害が少なかった。

事業状況では、未だ営業再開にいたっていないところが大半であり、今後何らかの助成制度があれば再開に結びつくものと思われる。震災の影響では売上高のダウン、原材料・商品の不足、従業員の解雇等が挙げられている。

資金調達では震災直後のつなぎ資金が融資されているものの、今後の設備投資や運転資金に対しては先行きが見えない状況である。

(4) 復旧状況調査

震災から1年が経過しようとしている平成24年2月、会員事業所の復旧状況を把握するため、全復旧会員を対象として調査を実施した。

- ① 調査対象 石巻商工会議所会員
- ② 調査期間 平成24年2月1日～平成24年2月29日
- ③ 調査項目
 - ・営業状況
 - ・施設・設備の復旧状況
 - ・事業活動への影響
 - ・従業員の雇用・採用
 - ・今後の見通し

上記調査して、会員から得られた回答では何らかの形で営業再開がなされている。しかしながら、売上が回復せず、厳しい状況である。施設・設備の復旧状況はグループ補助金や県の施設復旧補助金を活用して復旧に向かっているところもあるが、復興計画の実施の遅れから様子見的なところ、設備投資の資金目途がたたず着手できないところも見受けられる。

今後の見通しでは24年中には一部でもかまわないので復旧したいとの回答が多く寄せられていた。

(5) 関係機関との意見交換

東日本大震災により甚大な被害を受けた。石巻地域の経済界の産業及びインフラ等の復旧・復興に対して、国務大臣、国・県等関係機関と意見交換会を開催し、被

災地が抱えている課題・問題点について意見交換をし、早期復旧と連携について協議した。

意見交換先 国務大臣(国土交通・農林水産・財務・復興 他)
中央官庁(財務省・国土交通省・農林水産省・経済産業省・中小企業庁・水産庁・金融庁・内閣府・復興庁 他)
地元行政(東北地方整備局・東北経済産業局・東北財務局・宮城県・石巻市 他)
政党(民主党・自由民主党・公明党・社民党 他)
民間(日本商工会議所・日本経済団体連合会・日本銀行・政府系金融機関 他)

<郡山商工会議所>

総決起大会実施による要望事項作成(総決起大会開催費・要望書作成費、他)

- ① 東日本大震災からの復興に関する決議
 - ・暮らしを守り、雇用を生み出す施策を求める(細目4項目)
 - ・経済県都郡山の再生を求める(細目6項目)
 - ・社会資本の整備促進を求める(細目5項目)
- ② 東京電力福島第一原子力発電所事故に関する決議
 - ・原発事故の一日も早い収束と市内の除染を求める(細目4項目)
 - ・安全・安心・健康と子どもの未来に責任を求める(細目6項目)
 - ・国と東京電力に放射能被害の一掃とすべての損害に賠償を求める(細目6項目)

<いわき商工会議所>

- (1) 各行政機関へ、復興復旧に係る対策・支援の約30回にわたる要望活動事業
- (2) 「いわき市経済復興推進大会」(経済26団体のトップとして)の実施
- (3) 全会員巡回による管内被害状況の現地調査事業

<原町商工会議所>

- (1) 東日本大震災及び東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関する被害会員実態調査
- (2) 会員実態調査及び報告書作成

<相馬商工会議所>

- (1) アンケート調査の実施
支援策の基礎資料とするため、5月2日、全会員に対して郵送によるアンケート調査を実施した。

実施年月	送付件数(全会員)	回収
平成23年5月2日～	1,212件	614件(50.6%)

- (2) 地域経済の復興に関するグループ補助金の活用
地域経済を支える産業の復旧・復興を図るため、国の施策であるグループ補助金の活用を図るべく、説明会の開催・グループのとりまとめを行った。

③ 被災者・被災商工業者向け各種支援措置の情報収集・発信に係る費用

<釜石商工会議所>

- (1) 所報発行による情報発信
- (2) 各種会議出席による情報収集、発信

<宮古商工会議所>

- (1) 写真特集「津波」発行 26,000 冊
- (2) 女性会会報「震災特集 みち潮第 13 号」発行 300 部
- (3) 写真集販売手数料
- (4) 用紙代
- (5) 資料郵送代
- (6) 資料印刷代
- (7) 情報収集等に係る出張旅費
- (8) 打合わせ会のお茶等

<大船渡商工会議所>

- (1) 会員宛情報発信費用
 - ① 「広報しおさい」会員事業所送付 発行回数 年 8 回
 - ② 国税の申告・納付期限のお知らせ
送付日 平成 23 年 12 月 14 日
 - ③ ホームページ作成による支援情報発信
- (2) 遊休機械無償マッチング支援プロジェクト贈呈式開催費
日時 平成 23 年 12 月 22 日午後 1 時 30 分
場所 旧大船渡商工会議所 駐車場
贈呈内容 配布企業 7 社、機械 32 点
- (3) 罹災企業への P C 提供支援事業案内発送費用ほか 配布台数 160 台
 - ① 第 1 回配布 日時 平成 23 年 8 月 29 日 105 台
 - ② 第 2 回配布 日時 平成 23 年 10 月 17 日～18 日 32 台
 - ③ 第 3 回配布 日時 平成 23 年 11 月 7 日 10 台
 - ④ 第 4 回配布 日時 平成 23 年 12 月 26 日 13 台
- (4) 被災会員事業者への自転車提供案内費用
配布日 平成 23 年 11 月 11 日午後 1 時 配布台数 30 台
- (5) さんりく基金被災地復興支援助成金事業広報費用ほか
 - ① 被災事業者業務再開事業助成金
募集期間 平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 2 月 17 日
申請件数 75 件
申請金額 46,205,532 円

② 被災地域産業再生事業助成金

募集期間 平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 3 月 20 日

申請件数 209 件

申請金額 57,507,326 円

(6) NPO法人ピースウィンズジャパン復興支援助成事業広報費用ほか

募集期間 平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 3 月 20 日

	小規模事業向け	グループ向け	合計
申請件数	270 件	16 件	286 件
申請金額	109,009,150 円	14,306,150 円	123,315,300 円
交付件数	238 件	16 件	254 件
交付金額	91,975,015 円	14,306,150 円	106,281,165 円

(7) 各種会議・懇談会の会場料・出席旅費ほか

① 日本商工会議所との懇談会

- ・宮城常務理事現地視察、懇談会

日 時 平成 23 年 12 月 16 日

場 所 プラザ、事務所他

出席者 齊藤会頭、米谷副会頭、中井副会頭、上野専務、職員 3 名

- ・坪田事務局長との懇談会、管内視察

日 時 平成 24 年 2 月 7 日

場 所 プラザ他

出席者 中井副会頭、上野専務、職員 3 名

② 東北六県商工会議所連合会平成 23 年度定期総会

日 時 平成 23 年 7 月 15 日 午後 1 時

場 所 秋田市

出席者 齊藤会頭、上野専務

③ 日本商工会議所被災地区研修

日 時 平成 23 年 8 月 10 日 午前 10 時 15 分

場 所 大船渡市内

④ 県内商議所会頭会議出席

日 時 平成 23 年 8 月 29 日 午後 3 時

場 所 花巻

出席者 齊藤会頭、上野専務

⑤ 第 46 回東北・北海道商工会議所連絡会議

日 時 平成 23 年 9 月 7 日 午後 2 時 30 分～ 8 日

場 所 山形県酒田市

出席者 齊藤会頭、上野専務

⑥ 産業復興相談センター窓口業務研修会

日 時 平成 23 年 10 月 4 日 午前 9 時～ 5 日

場 所 盛岡

出席者 職員 2 名

⑦ 日商と東北ブロック商議所との懇談会

- 日 時 平成 23 年 10 月 19 日 午後 4 時
場 所 福島
出席者 齊藤会頭、上野専務
- ⑧ 平成 23 年度第三次補正予算等施策説明会出席
日 時 平成 23 年 11 月 30 日 午後 1 時 30 分
場 所 盛岡
出席者 職員 1 名
- ⑨ 三陸なりわい塾準備会へ出席
日 時 平成 24 年 2 月 10 日 午前 10 時
場 所 釜石
出席者 職員
- ⑩ グループ補助金の円滑な執行に関する連絡会議出席
日 時 平成 24 年 2 月 14 日 午後 2 時
場 所 釜石
出席者 職員 1 名
- ⑪ (株)東日本大震災事業者再生支援機構発足式出席
日 時 平成 24 年 3 月 3 日 午前 11 時
場 所 仙台
出席者 新沼事務局長
- ⑫ (日商)タブレット端末操作研修会出席
日 時 平成 24 年 3 月 9 日 午後 1 時 30 分
場 所 盛岡
出席者 職員 1 名
- ⑬ 船橋商議所建設業部会との懇談会
日 時 平成 24 年 3 月 30 日 午後 1 時
場 所 大船渡プラザホテル他
出席者 齊藤会頭、建設工業部会長、上野専務、職員 1 名

<久慈商工会議所>

(1) 情報収集

東日本大震災沿岸部地区商工会議所連絡会に出席し、他地域での取り組み等に関する情報を収集。また、岩手県商工会議所連合会東日本大震災対策本部事業所(会員)支援委員会に出席し、各種支援措置の情報を収集した。

(2) 発信の概要

会報「商工くじ」復旧支援特別号を発行し、災害復旧支援施策等の情報の周知及び無償提供の中古パソコン、机、椅子の提供案内をした。

<塩釜商工会議所>

(1) 会議所情報の発行(会報が発行出来ず、臨時に発行した)

平成 23 年 3 月 29 日発行 3,000 部
4 月 20 日発行 3,000 部
5 月 6 日発行 3,000 部

- (2) しおがま会議所ニュースへの震災関連情報の継続掲載
平成 23 年 6 月 1 日号より通常発行
(毎月 1 日・15 日発行 各 2,300 部)

<石巻商工会議所>

- (1) 各種支援制度説明会

東日本大震災の被災者を支援するため、国・県等ではさまざまな支援施策を創設し支援を行っている。被災者の復旧・復興の促進と事業者の経営基盤の安定を図るため支援制度説明会を開催した。

	日 時	場 所	参加者	説明者	内 容
中小企業施策説明会	平成 23 年 5 月 19 日	石巻グラン ドホテル	130 名	宮城県	資金繰り支援・雇用助成 金・失業給付・税制支援・ 事業用施設の復旧支援
中小企業等グループ 施設等復旧整備補助 事業に関する説明会	平成 23 年 6 月 15 日	石巻グラン ドホテル	150 名	宮城県	中小企業等グループ施 設等復旧整備補助事業
中小企業等グループ 施設等復旧整備補助 事業に関する説明会	平成 23 年 9 月 20 日	石巻グラン ドホテル	210 名	宮城県	中小企業等グループ施 設等復旧整備補助事業
宮城県産業復興相談 センター事業所向け 説明会	平成 23 年 11 月 23 日	石巻グラン ドホテル	60 名	宮城県産 業復興相 談センタ ー	二重債務
中小企業等グループ 施設等復旧整備補助 事業に関する説明会	平成 23 年 11 月 30 日	石巻グラン ドホテル	402 名	宮城県経 済商工観 光部新産 業振興	中小企業等グループ施 設等復旧整備補助事業
中小企業等グループ施 設等復旧整備補助事業 者を対象とした高度化 スキームによる貸付制 度等の説明会	平成 24 年 1 月 19 日	石巻グラン ドホテル	199 名	宮城県	高度化スキームによる 貸付制度等

※その他、復興会議において国・県の支援制度等を説明した

- (2) 情報発信事業

震災発生後、事業所の被災による連絡先の不明、通信インフラの不通により情報の発信がなかなかできない状況であった。当初は携帯電話の活用により、連絡網形式で連絡を行わざるを得なかった。また、会員より支援策等の情報に関する情報がほしいという要望があり、HPの活用、会報による情報の提供を行った。

<気仙沼商工会議所>

- (1) 東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会設立総会の開催、並びに関係省庁・国会議員等への要望活動

平成 23 年 7 月 21 日設立総会を開催。併せて「東日本大震災に伴う沿岸部被災地区支援に関する要望書」を関係省庁等へ提出。

- (2) 水産加工団地構想に係る水産加工業者との懇談会並びに説明会等の開催
 - ① 南気仙沼地区水産加工団地構想に関する説明会
 - 日 時 平成 23 年 12 月 15 日
 - 場 所 魚市場会議室
 - 出席者 86 名
 - ② 南気仙沼地区水産加工協同組合設立構想並びに漁港区域拡大に関する説明会
 - 日 時 平成 24 年 3 月 23 日
 - 場 所 魚市場会議室
 - 出席者 87 名
- (3) 国会議員並びに県知事等との震災復旧に係る懇談会等への出席（当所会頭他）
- (4) 気仙沼商工会議所報市民版の発行
 - 発行日 平成 23 年 9 月 10 日
 - 発行部数 18,350 部
 - 東日本大震災のため平成 23 年 4 月から 9 月号まで会報を発刊できず、市民版として発行

<郡山商工会議所>

- (1) 被災状況を記念誌で紹介、後世の記録とした（記念誌製作費）
- (2) 女性会創立 30 周年記念誌に“東日本大震災による被災状況”を写真・文章により記載

<いわき商工会議所>

- (1) 国縣市会議員及び各行政機関との復興・特区等情報収集・意見交換会の実施
- (2) 各種行政支援措置のパンフレット等作成及び情報発信事業
- (3) 各地方新聞社をはじめとするメディアへ、復興応援メッセージの掲載発信

<原町商工会議所>

- (1) 会報及び、税理士による個別経営相談会案内送付
- (2) 特定地域中小企業特別資金、中小企業等復旧・復興支援事業案内送付
- (3) 中小企業支援ガイドブック送付
- (4) 会報及び原町商工会議所震災後の動き送付
- (5) 特定地域中小企業等特別資金案内送付
- (6) ふくしま産業復興企業立地補助金、ふくしま産業復興雇用支援事業、弁護士による個別法律相談会案内送付
- (7) 中小企業支援ガイドブック、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（グループ補助金）説明会、再生 P C 支援プロジェクト案内送付

<相馬商工会議所>

復旧・復興支援ガイドブック等を発行し、全会員（希望者）に配布した。

(2) 証明、鑑定および検査に関する事業（同条第5、6号）

① 非放射能汚染等証明書の発行費

<相馬商工会議所>

環境放射線モニタを購入し、会員事業所に貸出した。

(3) 施設の設置、維持および運用に関する事業（同条第7号）

① 商工会議所会館の修繕・建て直し、再建費、設備什器備品の購入費

<釜石商工会議所>

(1) 会館復旧工事

津波により1階2階の全部分が突き抜け電気・給排水設備が壊滅状態となったため、復旧工事を実施した。

釜石市から、施設の1階部分は浸水を考慮し、建築構造や利用方法を検討するよう意見書が提出されたため、1階部分を駐車場に変更した。

概要

- ① 1階復旧工事（従来の仕様から駐車場への変更工事）
- ② 2階復旧工事
- ③ 電気、ガス、給排水設備復旧工事

(2) 会館復旧に伴う什器備品購入

<一関商工会議所>

東日本大震災により大きな被害を受けた本所、花泉支所の建物の復旧工事を実施した。

(1) 本所会館復旧工事

概要

- ・外壁モルタルの亀裂、破損箇所の修繕
- ・屋上の防水修繕
- ・内壁の亀裂、破損箇所の修繕
- ・破損した給排水衛生設備の修繕
- ・破損した空調設備の復旧

(2) 花泉支所建替工事

概要

半壊となり使用不能となった既存建物（構造：鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建、床面積312.06㎡）を解体、会館を新設復旧

新会館 構造 木造鉄板葺平屋建

床面積 105.16㎡（31.8坪）

<宮古商工会議所>

(1) コンピュータシステム統合修繕及びOAフロア回収費用

(2) 田老支所ネットワーク再構築

(3) 会議用テーブル10脚

- (4) ノートパソコン3台
- (5) ストープ5台
- (6) ファックス機1台
- (7) 送金手数料

<花巻商工会議所>

区分	内訳	工事内容
家屋等修繕	階段壁亀裂補修追加	1階から屋上までの階段室の壁の亀裂補修
	事務所壁補修(全館)	1階から3階の各事務所の壁亀裂補修
	屋上防水改修	震災による亀裂により3階事務所及び廊下天井が雨水の漏水のため屋上防水改修
	外壁改修	震災による亀裂により強風横風による雨水の漏水のため外壁改修

<奥州商工会議所>

江刺支所の修繕(外部タイル補修・窓廻り亀裂補修等)

<北上商工会議所>

壁面修理、ガラス修理、水漏れ修理、冷暖房機入替、電気工事、機械警備修繕等を行った。

<大船渡商工会議所>

- (1) 新会館建設地土地賃借料、補助金導入に伴う県との打合せ費用
- (2) 会館建設委員会開催費
- (3) 被災サーバHDD修復費用
- (4) 被災パソコンリース料の支払い、TOAS関連費用、トナー代 ほか

<久慈商工会議所>

トイレ壁面に亀裂、破損が生じたため修繕した。

<塩釜商工会議所>

- (1) 会館施設修繕復旧関係
 - ① 会館内浸水部分内装修繕工事
 - ② 給排水復旧工事
 - ③ 空調設備新設工事
 - ④ ガス復旧工事
 - ⑤ 屋根雨漏り修繕工事(地震による屋根のズレ)
 - ⑥ 館内床高圧洗浄清掃
 - ⑦ 床カーペット貼替工事
 - ⑧ 電気設備復旧工事
- (2) 什器備品購入

- ① 事務局内書棚 7 台
- ② PCプリンタ
- ③ 耐火金庫 2 台
- ④ ロビーパーテーション 3 台
- ⑤ 会議室用音響設備一式
- ⑥ 冷蔵庫 1 台
- ⑦ 掃除機 1 台
- ⑧ シュレッター 1 台
- ⑨ DVDプレーヤー
- ⑩ プロジェクター
- ⑪ デジタルカメラ

<石巻商工会議所>

(1) 震災により当所会館は大規模半壊。1階は約1.5mの浸水、机・パソコンなど全ての備品が流出し、足の踏み場のない状況であった。3月中に瓦礫処分と汚泥をとりはらい、水洗いした後、相談コーナーとして使用、6月より本格的に一般業務を行うようになった。

また、2階、3階の会議室も、3月の被災直後から各種業界等の復興会議に使用され、特に、市内の公共施設やホテル等、会議で使用できる施設がなかったことから、当所会館の利用頻度は例年以上に高かった。12月頃には各種仮設施設ができたことから、修繕工事を1月より実施し、3月に終了。

隣接している建物2棟（商工会議所所有）も大規模半壊。危険な建物であることから、12月に建物を解体、土地の整地を行った。

工 期 平成 24 年 1 月 28 日～3 月 27 日

工事請負業者 (株)丸本組

工事施工業者 菱中建設(株)石巻支店

工事概要 **【1階】**

- ・ 事務所床フロアのプラスチックタイル全面張替え
- ・ 破損ガラスの入替え（2箇所）
- ・ 立町側事務所入口ドアのガラス入替え並びに歪み補修
- ・ 物置入口ドア並びにトイレ入口ドアの補修
- ・ 会館外周基礎部分の補修・補強工事
- ・ 寿町側基礎部分のタイル張替え
- ・ 窓ガラス部分へのブラインドの取り付け
- ・ OAフロア取り外し部分の補強
- ・ 倉庫床の嵩上げ
- ・ 西側外溝部の補修

【2階】

- ・ 役員室のフロアマットの張替え
- ・ 立町側外壁の亀裂部分の補修・塗装
- ・ 会議室の壁紙張替え
- ・ 西側窓ガラス部分へのブラインドの取り付け

【3階】

- ・ 階段踊り場手摺の補強

- ・ドアノブの交換
- 【寿町側外壁（2～3階）】

- ・外壁の亀裂部分の補修・塗装

※1階立町角の破損ガラスについては、防犯上の観点から4月にガラス除去し、合板による仮復旧工事を行った。

※1階フロア工事終了後、電気配線工事並びにOAライン配線工事を別途行った。

※水道水、1階トイレ、1階流し台は、23年4月に仮復旧工事を行った。

※1階事務所に「宮城県産業復興相談センター石巻事務所」を設置することにもない、パーテーション設置工事を行った。

(2) 事務用機器の購入

- ① 相談室の設置にかかる机・イス等の購入
- ② カウンターの購入
- ③ ロッカー等の購入

<白石商工会議所>

(1) 修繕

- ① 内部補修工事
 - ・ 躯体クラックの補修
 - ・ 階段脇 梁欠損部補修
 - ・ 亀裂部分の塗装補修
 - ・ 天井ボードの固定
- ② 外部補修工事
 - ・ 躯体クラック補修
 - ・ タイル浮部補修
 - ・ 窓廻りタイル撤去及び復旧

(2) 購入

コピー機の購入

<福島商工会議所>

- (1) 事務所および会議室天井修繕
- (2) 資料室ラック修繕
- (3) 所内LAN修繕
- (4) 会議室音響修繕

<会津若松商工会議所>

会館共用部分ガラス修繕工事

<いわき商工会議所>

破損ドア、棚類、テレビ等電化製品、OA機器備品類購入、放射能モニタリングプロジェクト室の電源及び水回り、壁等修繕

<相馬商工会議所>

東日本大震災の地震により会館周辺が陥没。また、会館玄関アプローチには大規模な亀裂が入り、玄関ガラスが破損した。その他屋上排気塔にも亀裂が入り、倒壊の恐れが出た。そのため、大規模な補修工事を実施した。

工期：平成23年12月1日～平成24年3月31日

<日立商工会議所>

(1) 照明設備関連

- ① 第4会議室照明機器設備損壊にかかる工事費
- ② 1階エントランス照明機器設備損壊にかかる工事費
照明機器更新と変電圧設備を調整した。

(2) 空調設備関連

- ① 第4会議室空調機ファンコイル（会議室天井部位から吊ってあるダクトに付随して冷暖風を流す為の設備）（1台）損壊にかかる更新工事費
同会議室に設置してある4台のうちの1台（受注生産）が壊れたため、更新した。

<石岡商工会議所>

テレビの購入

地震によりテレビが損壊。地震、台風、大雨等の災害情報を的確かつ早期に収集するため、「テレビ」を購入

<ひたちなか商工会議所>

(1) 本所会館

内装、外壁、電気設備、空調設備等の修繕

(2) 支所会館

玄関回り、事務所土台、階段、窓ガラス等の修繕

<小山商工会議所>

(1) 地下受水槽格納室（ピット）水没による修繕工事

(2) 会館西側外壁落下及び亀裂による改修工事

<大田原商工会議所>

商工会議所会館の修繕等の内容

東日本大震災により、3階建て会館の柱・梁にクラックが入り、外壁・内壁・階段・天井の一部に崩壊が起き、会館全体に甚大な損傷が見られ立入禁止になった。再度大きな余震が発生すると会館が倒壊する恐れがあり、会館の張り出し部分に応急処置としてH鋼16本を補強して建物の落下を防いだ。

また、倒壊の恐れもあるので、会館全体をブルーシートで養生した。

また専門家による耐震診断の結果、今後の余震によっては倒壊の恐れがあるため、6月の議員総会に諮り、会館の取り壊しを決定した。

会館の取り壊しは、4社の専門業者より見積書を取り選考した結果、栃木市の解体専門業者に決定し、平成23年9月16日より解体工事に着手し平成23年11月18日に完了した。

現在更地になっている旧会館の敷地跡(約200坪)は、アスファルトで舗装し、駐車場やイベント会場として活用している。

<真岡商工会議所>

- (1) 監視カメラ修理代
- (2) 柱型、天井修理
- (3) 外壁他修理工事
- (4) 事務所ドアノブ・排煙部分修理代
- (5) 会館中庭外壁塗装補修代

<佐原商工会議所>

震災の影響により会館地下にあった受水槽及び防火水槽に亀裂が生じたため、修繕を行い防火水槽として活用、受水槽については1階待合スペースに新設工事を行った。

<浦安商工会議所>

- (1) 駐車場舗装およびフェンス補修工事
 - ① 駐車場と会館通用口との段差が発生したための補修工事
 - ② 駐車場フェンスの傾き歪みによる補修工事
- (2) 駐車場軒下の補修工事
 - ① 駐車場軒下の雨樋の破損による補修工事

② 仮事務所の設置運営費

<釜石商工会議所>

- (1) 仮事務所開所に係る消耗品、備品購入
- (2) 仮事務所の家賃、所用車用駐車場料
- (3) 仮事務所光熱費
- (4) 廃棄物収集運搬、処理手数料

<宮古商工会議所>

たろちゃんハウス物品搬入レンタカー及び運送料

<大船渡商工会議所>

仮事務所設置費(設置工事費、家賃、電話料、電気料、駐車場料)

所在地 岩手県大船渡市盛町字町10-11 サンリア内

賃借面積 2階部分 273.1㎡ (82.6坪)

<塩釜商工会議所>

仮事務所概要

設置期間 平成23年3月23日～4月30日

設置場所 キクニ株式会社（社長 当所会頭）
塩釜市尾島町 27-30
相談窓口状況 相談者数 272 名
（主な相談内容 災害融資・雇用保険関係）

<郡山商工会議所>

商工会議所会館の全壊に伴う仮事務所再開費用
移転・改装等の概要

- ① 事務所移転のための書類積み出し費用
- ② 仮店舗での事業再開のための電気・塗装・電話配線工事
- ③ 臨時駐車場借上、倉庫借上料、他

<大田原商工会議所>

仮事務所の設置

東日本大震災より、会館全体に甚大な損傷が見られ立入禁止になったため、大田原市に仮事務所斡旋を打診したところ、大田原市庁舎も甚大な被害を受けたため、難しい状態であった。

そのため独自で仮事務所を詮索した結果、現在の事務所より約 100m位の距離にある皇漢堂ビル（5階建て）の空きがあり、オーナーにお願いしたところ、快く入居することを承諾して頂いた。

3月22日より事務所の備品等の搬入を職員総出で1週間行い、4月4日に新事務所をオープンした。

③ 共同店舗等バザーの設置経費

<相馬商工会議所>

(1) 仮施設整備事業

中小機構が仮施設（店舗・事務所・工場）を整備して被災した中小企業者等へ市を通じて貸与し、事業活動の再開を支援するもの。当所は、被災事業所への当事業の情報提供や出店者間の取りまとめ等、事業再開への支援を行った。また、「がんばろう相馬！」ののぼり旗を設置したほか、グランドオープンイベントを実施するなど誘客促進の経営支援も行った。

① 主な経過等

年月日	内容等
平成23年 4月15日	相馬市長へ設置要望
5月2日	入居者募集開始
5月19日	市との仮施設打合せ会
5月20日	中小機構との打合せ会
9月16日	塚田地区仮設事業所利用に係る説明会
9月29日	仮設事業所鍵引渡し式（塚田・西地区）
10月4日	塚田地区仮設事業所打合せ

10月12日	西地区仮設事業所打合せ
12月6日	西地区仮設事業所打合せ会
12月7日	塚田地区仮設事業所打合せ会
12月17日	グランドオープンイベント
平成24年3月11日	「相馬報徳庵」オープン（塚田地区仮設事業所）

② 事業所構成内容

a 塚田地区仮設事業所 (10区画)	(店舗) 理美容業2・水産卸1・野菜直売1・布製品販売1 (事務所) 家電製品1・販売業1
b 西地区仮設事業所 (10区画)	(店舗) 美容業1・スーパー1・水産加工1・衣料販売1・ 郵便局1

(2) はらがま朝市支援

津波被災地区の水産加工事業者らが早期復興のための活動を目的に結成したNPO法人組織の活動を支援した。

年月日	内容	場所
平成23年5月3日	はらがま朝市スタート (毎週土日開催中)	長友グランド スポーツアリーナそうま
平成24年3月8日	塚田仮設店舗完成お披露目	塚田地区仮設事業所
3月11日	「相馬報徳庵」オープン 第一回相馬水産加工復光フォーラム	塚田地区仮設事業所 相馬市総合福祉センター

(4) 講演会、講習会の開催に関する事業（同条第8号）

① 事業所の復旧、立て直し、営業再開、取引先紹介、資金繰り、雇用確保に関する講習会等の開催費

<釜石商工会議所>

「釜石復興まちづくり講演会」開催費用（講師謝金、旅費、会場料）

<宮古商工会議所>

グループ補助金打ち合わせ等お茶代（4回分）

<久慈商工会議所>

研修会

- ① 日 時 平成24年2月22日 15時
場 所 ロイヤルパークカワサキ 出席者数 38名
テ ー マ 「BCP（事業継続計画）策定のヒント」
講 師 小山田泰彦司法書士土地家屋調査士事務所
代表 小山田 泰彦 氏

- ② 日 時 平成 24 年 1 月 24 日 13 時 30 分
 場 所 久慈商工会館 出席者数 20 名
 テーマ 「東北地方太平洋沖地震津波」
 ～久慈港における被害状況と復旧について～
 講 師 国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所
 久慈港出張所長 鳥畑 孝志 氏

<塩釜商工会議所>

震災復興特別講演会

開催日時 平成 23 年 11 月 28 日

内 容 「放射線の作用やその影響～身の回りの放射線～」

講 師 東北放射線科学センター 理事 高倉 吉久 氏

参加者 105 名

<石巻商工会議所>

(1) 震災復興セミナー

震災復興と街づくりセミナー

	日 時	場 所	参加者	講 師
持続可能なまちづくり とメインストリートの 再生	平成 23 年 8 月 5 日	石巻商工会 議所	65 名	(株)まちづくりカンパニー・シ ープネットワーク 西郷 真理子氏
震災復興に向けた中小 企業支援・街づくりに ついて	平成 23 年 10 月 1 日	石巻グラン ドホテル	60 名	参議院議員 櫻井 充 氏
今こそ逆境と闘う勇気 と知恵を!!	平成 23 年 12 月 9 日	石巻グラン ドホテル	53 名	中経出版 山下 康博 氏
石巻地域経済の復旧・ 復興について	平成 24 年 1 月 14 日	石巻グラン ドホテル	86 名	参議院議員 櫻井 充 氏
補助金の会計処理及び 税務セミナー	平成 24 年 3 月 22 日	石巻商工会 議所	106 名	有限責任監査法人 公認会計士 下山 誠 氏

(2) シンポジウムの開催

開催目的

2011 年 3 月 11 日東日本大震災において、東北地方の太平洋沿岸地域は甚大なる被害を受けた。各地域において全国からの心温まるご支援をいただき復興への第 1 歩を踏み出したが、企業の再建、雇用の確保、生活支援など課題が山積しており復興への足取りは重く感じられている。

当石巻市において、昨年 12 月「石巻市震災復興基本計画」が策定され、災害に強いまちづくり、産業・経済の再生、絆と協働の社会づくりを基本理念として、10 年を目途に震災復興を図っていくこととなっており、この計画では、国からの支援・協力が不可欠であり、加えて市民ひとりひとりの果たすべき役割を認識して進んでいくことが必要となっている。

こうしたことから、震災発災後 1 年を迎えるにあたり、石巻の再出発を図るため市民の英知を結集して、協働の地域づくりに努めることを目的として開催した。

- 日 時 平成 24 年 3 月 3 日 14 : 00 ~ 18 : 00
- 場 所 石巻グランドホテル
- 主 催 石巻商工会議所
- 内 容 「2020 年の石巻を語る～石巻地域の早期産業復興を目指して～」
- ① 基調講演 テーマ「東日本大震災～復興に向けての取り組み」
復興大臣 平野 達男 氏
- ② パネルディスカッション
コーディネーター (株)三陸河北新報社 社長 西川 善久 氏
パネリスト 東北工業大学 教授 稲村 肇 氏
都市計画家 西郷 真理子 氏
大日本水産会 会長 白須 敏朗 氏
石巻商工会議所 会頭 浅野 亨 氏
- ③ 交流会 参加者 250 名

(3) ステッカーの製作

東日本大震災からの 1 日も早い復旧・復興を促すため、ステッカーを作成し、市民及び事業者に配布した。

がんばろう石巻

A 4 版サイズ 1,000 枚

A 4 版 1/4 サイズ 3,000 枚

がんばっぺ石巻

A 4 版サイズ 1,000 枚

A 4 版 1/4 サイズ 3,000 枚

<気仙沼商工会議所>

中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に係る説明会の開催 等

(※平成 24 年 2 月 8 日グループ補助事業説明会 於. 市民会館 約 500 名出席 他)

<郡山商工会議所>

通常議員総会セミナーで震災復興テーマに講演

日時 平成 23 年 5 月 30 日

場所 郡山ビューホテルアネックス

演題 「ふるさとの復興に向けて」

講師 復興庁参事官 阪本 克彦 氏

概要 復興の現状と復興庁の取組みについて

福島復興再生基本方針について

研究開発・産業創造拠点構想について

<いわき商工会議所>

(1) 原発事故復旧説明会

(2) 放射能影響セミナー

(3) 復旧・復興補助金説明会

(4) 放射能モニタリングプロジェクトチームリーダー育成研修会

(5) 風評被害セミナー (チラシ新聞折込料)

<白河商工会議所>

特別講演会「原発事故から私たちの生活と食を守るために～二度の現地調査をふまえて～」を、白河地区更生保護女性会との共催事業として開催。

日時 平成23年8月4日 13:30～15:00

会場 はくしん東支店イベントホール

入場無料・定員150名

講師 安齋 育郎 氏（専門：放射線防護学・平和学）

安齋科学・平和事務所所長／立命館大学名誉教授／国際平和ミュージアム名誉館長

<原町商工会議所>

弁護士による東京電力(株)福島第一原子力発電所事故賠償請求勉強会

平成23年10月5日開催

<相馬商工会議所>

原発事故対策事業

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による県内の放射性物質の状況や人体への影響などについて知るための勉強会や、実害・風評被害等を実際に受けた事業所の方々への損害賠償等についての各種相談会等を実施した。

年月日	事業内容	講師等	場所	参加人数
平成23年 9月14日	放射線対策セミナー	(株)日本環境調査研究所 茂木 道教 氏	相馬商工 会議所	43人
9月29日 (午前・午後)	原子力災害補償関係説明 会	東京電力(株)福島原子力補 償相談室 福島補償相談センター	相馬市 総合福祉 センター	100 人
11月10日 (午前・午後)	原発事故損害賠償請求の 勉強会	福島県弁護士会相馬支部 弁護士 5名	相馬商工 会議所	37人
11月9日～ 計18回 (毎週水曜日 開催)	東京電力原子力損害賠償 相談会	東京電力(株)福島原子力補 償相談室 福島補償相談センター	相馬商工 会議所	110 件
平成24年 2月7・22日	賠償請求個別相談会	復興支援アドバイザー派 遣税理士 2名	相馬商工 会議所	4人

(5) 博覧会、見本市等の開催および開催のあつ旋に関する事業（同条第10号）

① 被災地内外における復興展示会・イベント・物産展の開催費

<八戸商工会議所>

東日本大震災経済復興支援事業

会員事業所とともに一致団結して、郷土八戸の復興にむけて熱意と情熱を奮い起こし、経済の活力回復並びに東北地域における経済復興拠点を目指す東日本大震災経済復興支援事業を実施した。

- | | |
|---------|--|
| 組 織 | 経済復興支援会議（議長 河村 忠夫／副会頭） |
| 統一スローガン | 「がんばるぞ八戸！東北を元気に」 |
| 事業内容 | ① 東日本大震災経済復興支援事業 開始宣言セレモニー
② 支援グッズの販売／幟・ポスター・ステッカー・バッチほか
（販売収入は、当市の経済復興資金として全額を八戸市に寄付した）
③ 岩手・宮城・福島観光物産プラザでの特産品販売の斡旋
④ 元気UP！酒場ラリーの実施
⑤ はちのへ弥生灯火会の実施 |

<宮古商工会議所>

- (1) 宮古夏まつり拠出金（御霊の鎮魂・地域復興祈願のための海上花火大会）
- (2) みやこ秋まつり警備費用
- (3) 復興記念宮古市産業まつり負担金
- (4) 余目そばまつり関係旅費（復興支援）
- (5) 銀座いきなり市場関係旅費等（復興支援）

<大船渡商工会議所>

- (1) ビジネスマッチングフェア in 浜松 ブース出展旅費
日 時 平成 23 年 7 月 20 日、21 日
場 所 浜松市 アクトシティ浜松 展示イベントホール
開催概要 「環境」をメインテーマとして、地元中小企業に「出会いの場」を提供し、販路拡大・受注確保など新たなビジネスチャンスの機会創出をバックアップするとともに、大学・支援機関の参加による産学連携の強化、地元企業と地域社会の活性化推進を目的として開催。
東日本大震災の復興支援策の一環として、支援機関ゾーンにて企業誘致案内や特産品紹介等を実施。

- (2) 平成 23 年度「三陸沿岸食品見本市」出店旅費
日 時 平成 24 年 3 月 7 日～9 日
場 所 千葉市 幕張メッセ
(FOODEX JAPAN2012／
第 37 回国際食品・飲料展内特設会場)
開催概要 県内外の流通者に対して、三陸沿岸地区の水産加工食品を中心に広く紹介するとともに、各流通業者から商品開発や流通事業等に関する情報の取得や、他社の販売促進技術を肌で感じるにより地場産品の販路拡大を支援し、ひいては参加企業の進行発展に寄与することを目的に出店。

<久慈商工会議所>

- (1) 「銀座いきなり市場」への出展
期 間 平成 24 年 1 月～平成 24 年 8 月末日

場 所 東京都中央区銀座「銀座T Sビル」
内 容 東急不動産株が管理する「銀座T Sビル」に被災地区の商工会議所が、「東日本復興応援プロジェクト in 銀座」と題し、被災地の物産展や震災のギャラリー、食堂など展開。当商工会議所でも地域の特産品などをPRするため、4事業所から10品を出品した他、市の観光パンフレット等や当地域の被災写真を展示した。

(2) 飲食店ラリーin久慈

日 時 平成24年2月15日 17時30分
場 所 市内の加盟飲食店20店 参加者数 219名
内 容 指定された飲食店4店舗を廻ってスタンプを押してもらうとお楽しみ抽選会に参加できる仕組みとし、飲食店に気軽に来店できる機会を提供。参加店は被災後の早期復興につながる新規顧客の獲得を目指した。

<塩釜商工会議所>

(1) イベント開催

① 「がんばっぺ！福幸市」

開催日 平成23年7月18日 ※みなと祭同日開催
開催場所 本塩釜駅アクアゲート口前広場
出店数 20店舗
来場者 約2,000名

② 「第2回福幸市」

開催日 平成23年10月23日
開催場所 しおがま・みなと復興市場（仮設商店街）
出店数 20店舗
来場者 約1,500名

③ 「本町くるくる「絆」復興感謝祭」

開催日 平成23年12月23日
開催場所 本町仮設店舗
出店数 2店舗
来場者 約500名

④ 「2011震災復興しおがま歳末セール」

開催期間 平成23年12月15日～平成24年1月3日
参加店数 84店舗

(2) 各地物産展出展

(商品のみ出展)

① 「ふじさわ産業フェスタ」(神奈川県藤沢市)

平成23年5月28日・29日
10社出展

② 「こまき産業フェスタ2011」(愛知県小牧市)

平成 23 年 5 月 28 日・29 日

10 社出展

- ③ 「東日本大震災被災地応援物産展」(長野県上田商工会議所主催)

平成 23 年 7 月 29 日～8 月 8 日

9 社出展

- ④ 「くろべフェア 2011」(富山県黒部市)

平成 23 年 9 月 24 日・25 日

4 社出展

- ⑤ 「藤沢市民まつり」(神奈川県藤沢市)

平成 23 年 9 月 24 日・25 日

6 社出展

- ⑥ 「銀座いきなり市場」

平成 23 年 10 月 7 日～24 年 8 月末

7 社出展

(職員派遣)

- ① 「山形市初市」(山形商工会議所主催)

平成 24 年 1 月 10 日

5 社出展

- ② 「東北「福幸」エール～物産展&ニコニコスタンプラリー」(大阪府箕面市)

平成 24 年 2 月 18 日

5 社出展

(3) 展示会

- ① 「2012 塩釜フード復興見本市」

開催日 平成 24 年 2 月 14 日

開催場所 ホテルグランドパレス塩釜

出展者数 33 社

来場者数 約 1,100 名

<石巻商工会議所>

- (1) おらほの復興市 ～石巻・女川・東松島～

東日本大震災によって多くのイベントが開催中止となった。石巻圏域の復興への取り組みを“復興市”という形で県内外に発信すべく、実行委員会を組織して本行事を開催した。

日 時 10月16日9:00～15:00

開催場所 石巻市総合運動公園

出 店 数 56 社

主 催 おらほの復興市実行委員会

後 援 石巻市・女川町・東松島市

主な行事 石巻圏域(石巻・女川・東松島)の地場産品ならびに飲食物販売、ステージこども広場、警察・消防車両展示 他

- (2) 仮設店舗事業におけるイベント

仮設店舗事業における商店街の活性化、消費者の利便性の向上、地震・津波の災害により被害を受けた商店街の早期復興と誘客を図るためイベント事業を展開した。

開催日	事業名
12月10日	オープニングセレモニー
18日	早稲田大学ジャグリングサークル公演
23日	栄光幼稚園キャロリング・Mr. マリック&マギー司郎 サイン会
24日	同志社大学学生混声合唱団C. C. Dコンサート
1月21日	J I N ' S P R O J E C T ふれあい餅つき大会・カリンバ演奏会
2月13日	能楽企画「菊慈堂」、曹洞宗山形県庄内青年会茶菓子振舞
14日	バレンタイン企画「柚季 純」コンサート
28日	東北放送「サンドのぼんやりーぬ」にて放送
3月3日	千葉大学園芸学部による植栽
5日	白河ラーメン炊き出し
7日	多摩美術大学壁画製作(～3月14日)
10日	多摩美術大学ワークショップ(楽器製作)・希望の風船飛ばし
14日	多摩美術大学ワークショップ(エコバック製作)、「川上 盾」ミニコンサート
17日	神田外語大学おひな様写真展

<気仙沼商工会議所>

- (1) 東日本復興応援プロジェクト from 銀座事業への取組み(平成23年10月より実施)
(※銀座T Sビルにおいて、気仙沼地域のみならず被災地域〔東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会に加盟する10商工会議所(八戸、久慈、釜石、宮古、大船渡、気仙沼、石巻、塩釜、仙台、いわき)〕の製品の販売支援(1F. 銀座いきなり市場)、並びに被災地域の情報発信・交流イベント等の開催(2F. ひろがれ舞台)に取り組む。販売商品数は102事業所、475商品。尚、同事業は東急不動産㈱の支援を受けH24年8月までの実施を予定。)
- (2) 群馬県沼田市「沼田ふびす講」(交流イベント)への参加
(※開催日 平成23年11月12日・13、於. 群馬県沼田市。)
- (3) インドネシア・フェスティバル2011(交流イベント)への参加、等
(※開催日 平成23年7月9日・10、於. 代々木公園イベント広場。インドネシア大使館とは本市の祭り等を通じて交流があり、平成23年6月には同国大統領が本市を訪問。)

<福島商工会議所>

福島県商工会議所女性会連合会主催
 福島県産品及び観光振興PR事業ふくしま市I N神楽坂の実施
 開催日 第1回 平成23年7月20日～21日
 第2回 平成23年10月22日

場 所 東京都神楽坂 毘沙門天前
内 容 福島県産品と観光のPR

<会津若松商工会議所>

災害復興映画上映会（女性会）

日 時 平成23年7月2日 13:00～15:30

場 所 会津若松市文化センター

上映映画 きなこ～見習い警察犬の物語

来 場 者 約320名（大熊町等からの避難者・市民等）

会場入口に七夕飾りを設置。参加者が短冊に復興への願いを込めた。

<いわき商工会議所>

日本商工会議所経由による各地の復興支援イベントへ参画し、被災地の現状と被災しても頑張っていることをアピール

（藤沢市民フェスティバル、逗子フェスティバル、彦根イベント、昭島フェスティバル、草加フェスティバル、女性会全国大会物産展、鎌倉イベント、浜松イベント、和歌山イベント、有明イベント、三木市民祭、港区イベント、越谷イベント、大津イベント、喜多方イベント、飯能イベント、築地緑のマルシェイ、いわき復興祭等）

<白河商工会議所>

福島県商工会議所女性会連合会事業 福島県産品及び観光振興PR事業

日 時 第1回 平成23年7月20日～7月21日

第2回 平成23年10月22日

会 場 東京都神楽坂通り商店会 毘沙門天前

内 容 第1回神楽坂まつり「ほおずき市」、第2回神楽坂まち飛び7フェスタへ出店し福島県産品の販売及び観光PRを実施。福島県内各地の商工会議所女性会会員が参加。

<原町商工会議所>

(1) 福島県産品及び観光振興PR事業「ふくしま市 in 神楽坂」への参加
平成23年10月22日

(2) 福島県アンテナショップ&レストラン 日本全国うまいもの交流サロン「なみへい」への参加
平成24年3月14日～15日

(3) 南相馬市復興市民大会 平成24年3月18日

<会津喜多方商工会議所>

(1) 早期復旧・復興を掲げ、共通の目標の下で取り組めるよう、女性会復興支援ピンバッチを作成し、被災地内外におけるイベントで全員揃って着用した。（500個作成）

(2) 復興支援事業「喜多方発！ふくしま福幸フェア～絆をとりもつ幸せのかけ橋～」

平成24年2月11日～3月11日 延べ30日間

- ① ひなの蔵めぐり&福幸だんごさし
- ② 福幸イルミネーション&冬の蔵景色ライトアップ
- ③ 福幸祈願花火
- ④ 1泊2,504円の喜多方ラーメン三昧の旅
- ⑤ きたかたご当地グルメフェア
- ⑥ 地酒の祭典 JAPAN CUP 「喜多方酒蔵探訪のんびりウォーク」
- ⑦ がんばっぺ福幸横丁
- ⑧ 喜多方ラーメンフードバトル

<相馬商工会議所>

(1) 中心市街地支援事業

① 賑わい創出事業

(2) 青空市

県内道の駅連絡会と連携し、道の駅「そうま」、道の駅「よつくら港」・「安達」・あいづ「道の駅」交流会から震災復興応援として参加した。各地の物産の販売とケータリング車などの飲食ブースも出店し賑わった。事業主管である相馬商工会議所青年部も牛肉や牛乳の販売、支援物資の配布などを行い事業を盛り上げた。

開催日 平成23年11月3日

開催場所 相馬市民会館前駐車場

(3) ぐるっと市事業

空洞化しつつある商店街の活性化の一助となるべく商業部会が来街者の増加を図るために「そうまぐるっと市」を企画。相馬市で取り組む「お出かけミニバス」事業と一体的に取り組む、震災後の交流人口の増加と中心市街地の活性化を図った。市外からの避難者への販売促進対策としても貢献している。

事業開始 平成23年11月1日～

加盟店数 40～45店舗（月毎に変動あり）

応募総数 9,831人（11～3月延べ人数）

(4) 相馬復興応援「がんばろう相馬！」事業

① 「がんばろう相馬！」シール・フラッグ作成

災害からの復興の気運を盛り上げるため、市内外にアピールしようと相馬商工会議所推奨物産品認定委員会（委員長：新妻副会頭）が制作し、市内商店街や会員等に配布した。

種類	枚数	備考
フラッグ	700枚	市内の商店街、会議所役員議員事業所、市内公共施設等に掲示
シール	600,000枚	全会員他希望者に配布
のぼり旗	300枚	イベント時等に使用

② 「e顔プロジェクト」事業

震災に負けないで「みんなで明るくいい顔になろう！」との趣旨で当所災害復興支援事業として女性会が実施。会員約20名が、東日本大震災からの一日も早い復興を願い、色とりどりのパンジーの苗をプランターに植栽し、会員事業所に配布した。

実施日 平成23年10月11日

配布数 50個

<須賀川商工会議所>

女性会では、福島第一原発事故の影響で風評被害を被っている福島県産品及び観光振興を図る事業（3月13日～14日東京日本橋において開催）を実施するにあたり、1月16日に事前視察会を行い、準備を整え当日を迎えた。

また、須賀川特設物産展の開催事業に対しても取り組んだ。（平成24年2月8日～3月11日の間、東京銀座において復興イベント並びに物産展を開催し、内外に復興再生に向けたアピールをした。来場者3,500人）

<佐原商工会議所>

佐原商工会議所女性会 復興イベント

題名 がんばろう佐原

東日本大震災復興チャリティー ～ 復興・復活・福笑い ～

日付 平成24年1月21日 午前11時～午後3時

会場 佐原商工会議所

内容 震災により被災した方々に少しでも楽しいひと時をお届けしたいと仮設住宅に入居されている方々を招待し、また多くの市民の方々にも参加して頂き、講談、落語、篠笛、舞踊等のイベントを開催した。

(6) 商事取引の紹介およびあつ旋に関する事業（同条第11号）

① 被災地中小企業の販路開拓支援等事業の運営費

<大船渡商工会議所>

東日本復興応援プロジェクト from 銀座「銀座いきなり市場」設置に伴う説明会旅費

出展期間 平成24年1月～平成24年8月

出展場所 東京都 銀座TSビル

目的 東日本大震災で被災した、岩手・青森・宮城・福島の商工会議所で組織する、「東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会」が連携を図り、首都圏において被災地の物産販売や情報発信に取り組むことを目的とする。

物産販売出展業者

(株)鴎の玉子、(株)アマタケ、鎌田水産(株) 3社 6商品

<いわき商工会議所>

原発事故による風評被害にあっても、地元物産・製品が取引出来る場を提供
東北コミュニケーションステーション、銀座物産プラザ

② 遊休機械設備マッチング支援経費

<宮古商工会議所>

マッチングプロジェクト 贈呈費用

<石巻商工会議所>

(1) 遊休機械マッチング支援事業

東日本大震災で被災を受けた中小企業の事業の立て直しを支援するため、全国各地の商工会議所と連携を図り、製造工作機械の破損・潮水による制御不能等の理由で事業復興・継続に支障をきたしている被災事業者に対して、遊休機械を無償で提供し、事業再開の手助けとなる事業を展開した。

提供企業数	譲受企業数	提供機械数
18社	9社	43点 卓上ボール盤・フライス盤・溶接機・旋盤・切断機・厨房機器・冷蔵庫・製氷機・菓子製造器・長テーブル・イス 等

(2) 事務機器の無償貸与事業

東日本大震災で被災を受けた中小企業の事業の立て直しを支援するため、事務機器メーカーや販売店の支援を受け、OA機器等を無償で貸与していただき、事業再開の手助けとなる事業を展開した。

提供企業数 2社（東芝テック・フォーバル）

譲受企業数 62社

貸与機器 パソコン・コピー機・レジスター・電話機 等

遊休機械無償マッチング支援事業や事務機器の無償貸与事業は、すぐに効果がみえる事業である。多くの会員事業に活用され喜ばれている。

<気仙沼商工会議所>

(1) 遊休機械設備マッチング支援プロジェクト事業の会員事業所への周知

(2) 遊休機械設備マッチング支援に係る名古屋商工会議所会員企業との懇談会の開催、等

(※マッチング支援事業の第一弾として、平成23年10月12日に名古屋商工会議所及び東京商工会議所等の会員企業より16種類の機械が、当所造船鉄工業部会所属の7企業へ贈呈された。)

(7) 商事取引の紛争に関するあつ旋、調停および仲裁に関する事業（同条第12号）

① 被災した事業所の紛争に関する斡旋、調停、仲裁等にかかる専門家招聘等費用

該当なし

(8) 商工業の相談および指導に関する事業（同条第13号）

① 被災された小規模事業者の巡回指導用車両（自動車、バイク、自転車等）の購入

<釜石商工会議所>

- (1) 車両1台購入
- (2) 車両の任意保険料
- (3) スタットレスタイヤ・ホイール購入
- (4) 東日本大震災による車両流失のリース規約に基づく車両残価費用

<宮古商工会議所>

- (1) ワゴン車1台購入
- (2) 軽ワゴン車（支援車輛）任意保険代

<大船渡商工会議所>

原付バイク1台購入

<久慈商工会議所>

軽自動車1台購入

<石巻商工会議所>

巡回指導用車両については、支援物資で対応
軽車両 2台（佐久商工会議所・Y‘Note）
自転車 5台（宮城県商工会議所連合会・塩釜商工会議所）

<いわき商工会議所>

ワゴン車1台購入

<原町商工会議所>

軽自動車1台購入

<相馬商工会議所>

巡回指導用車両として軽自動車2台を購入

<二本松商工会議所>

三菱ミニキャラバン1台購入

② 被災した中小企業への訪問・総合特別相談窓口の設置

<釜石商工会議所>

- (1) 巡回901件、窓口相談1,028件
- (2) 相談、指導巡回訪問使用レンタカー賃借料

<宮古商工会議所>

巡回用ガソリン代

<大船渡商工会議所>

経営指導員の巡回指導

項目	件数
経営革新	13
経営一般	810
情報化	0
金融	79
税務	80
労働	15
取引	4
環境対策	0
その他	142

<久慈商工会議所>

(1) 窓口相談対応

- ① 東日本大震災特別相談窓口の設置 相談件数 延べ 162 件
- ② 岩手県産業復興相談センター久慈事務所開設 相談件数 113 件

(2) 専門家派遣、相談会の開催

- ① 合同相談会 4月8日、4月20日 参加者数 31名
- ② 個別相談会 8月5日 参加者数 28名

<石巻商工会議所>

東日本大震災の発災により、被災中小企業者は年度末にあたり、金融の決済、融資、従業員の維持・解雇にかかる労務、今後の経営計画など経営上あらゆる相談事が出てきた。さまざまな相談に応じるべく、ワンストップ相談窓口を商工会議所1階に開設し、中小企業診断士や社会保険労務士などの専門家と当所経営指導員が無料で相談に応じた。

また、中小企業基盤整備機構の支援のもと、毎週1回定例日も設けて経営相談にあたっている。

さらに、二重債務解消に向け、11月より当所1階に「相談センター」を設置し、二重債務の相談に応じている。

東日本大震災に伴うワンストップ相談窓口

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成23年4月～ 平成23年6月	商工会議所	金融：日本政策金融公庫石巻支店・宮城県信用保証協会石巻支店・経営指導員 労務：宮城労働局・経営指導員 経営：中小企業基盤整備機構・宮城県経済商工観光部・経営指導員	967名

中小企業等グループ補助事業認定申請に伴う個別相談会

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
------	------	------	------

平成 23 年 10 月 3 日～ 平成 23 年 10 月 20 日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	427 名
--	-------	---------------	-------

中小企業等グループ補助事業交付申請に伴う個別相談会

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成 23 年 12 月 1 日～ 平成 23 年 12 月 15 日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	298 名

中小企業基盤整備機構による定例相談会

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成 23 年 10 月 3 日～ 平成 24 年 3 月 31 日	商工会議所	中小企業診断士・会計士・税理士	235 名

みやぎ復興相談センターによる個別相談

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成 23 年 11 月～	商工会議所	震災復興アドバイザー	名

※事業継続中

また、復興対策本部・総合相談窓口の看板を作成し、経済復興への総合窓口として広く周知した。

東日本大震災 石巻商工業復興対策本部 ﾀｲﾌﾟ 180cm×ｺｺ 90cm

東日本大震災 災害復旧融資特別相談窓口 ﾀｲﾌﾟ 180cm×ｺｺ 90cm

※石巻商工会議所玄関口に掲示

<郡山商工会議所>

震災復興及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う相談事業費

- ① 相談窓口ちらし印刷費
- ② 相談会開催費（平成 23 年 9 月 26 日）

<いわき商工会議所>

- (1) 市内全域を被災地と捉え、約 3,000 件の会員企業訪問を実施
- (2) 「東日本大震災緊急相談窓口」の設置

<原町商工会議所>

弁護士による個別法律相談会 137 回 413 件

<相馬商工会議所>

経営支援事業

- ① 全会員訪問活動

3月14日には会議所役員・議員の安否確認をスタートした。

震災直後は、原発事故の影響もあり、職員の屋外活動を自粛していたが、震災発生から2週間後の3月25日から津波被災地区の状況確認をスタートさせた。

なかなか声をかけにくい状況や不在のところも多く、また、沿岸部の津波襲来箇所には、いたるところに大小の船舶や車両が多量の泥とともに無残な姿となって残っており、入りにくい状況も続き、聞き取り調査も大変困難であった。

実施期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日

巡回件数 430件

② 経営相談

震災発生から3日後の3月14日に「災害金融・経営特別相談窓口」を当所サロン室に設置（※4月8日まで毎日開設）。また、被災して当所への移動が困難な方々への対応策として災害特別出張相談会・説明会を市内各避難所にて実施した。

さらに、各関係機関と連携し、復旧・復興支援制度等の説明会および相談会を開催した。

・災害金融・経営特別相談窓口の設置

年月日	内容	対応者等	件数	開催場所
平成23年3月14日～ 24年3月31日 (現在継続中)	金融・税務・経営等全般	経営指導員等	746件	相馬商工会議所

・主な相談内容等

相談	件数	内容	件数	業種	件数
制度照会	62	経営	129	製造業	91
資金繰り	162	金融	234	卸売業	35
経営相談	253	税務	69	小売業	220
情報収集	134	労働	8	飲食業	62
その他	135	共済関係	10	サービス業	179
		火災保険	4	建設業	66
		中小機構関連	56	運輸業	13
		その他	236	その他	80
計	746	計	746	計	746

・災害特別出張相談会

年月日	内容	対応者等	開催場所
平成23年 4月27・28日 5月9・10日	金融・税務・経営等全般	経営指導員等	スポーツアリーナそうま 他 市内各避難所（8箇所）

・専門家個別相談会

年月日	内容	対応者等	件数	開催場所
平成23年5月12・19・26日 平成24年1月10・16日 2月27日 3月5日	労務対策等	社会保険 労務士	16件	相馬 商工会議所 及び各事業所
平成24年2月7・22日	原子力損害賠償請求書の記載方法等	税理士	4件	相馬 商工会議所
平成23年6月16日 8月3・24日	被災事業者の経営相談会	中小企業 診断士	8件	相馬 商工会議所 及び各事業所

平成23年 5月20日	労務対策	中小企業 診断士 社会保険 労務士	6件	相馬 商工会議所
-------------	------	----------------------------	----	-------------

・被災者支援施策合同説明・ワンストップ相談会

年月日	内容	参加機関	件数	開催場所
平成23年 5月20日	震災復興支援施策全般 説明 金融・税務・経営等全 般の個別相談会	東北農政局 東北経済産業局 日本政策金融公庫 福島県保証協会 中小企業基盤整備機構 中小企業診断士 社会保険労務士 相馬商工会議所	50名	相馬 商工会議所

・中小企業等復旧・復興支援事業等説明相談会

年月日	内容	参加機関	件数	開催場所
平成23年 7月8日	中小企業等復旧・復興支援補助 制度説明会・個別相談会	福島県相双地方 振興局	48名	相馬 商工会議所
11月11日	県内中小企業向け復旧・復興支 援施策説明会・個別相談会	福島県商工労働 部	37名	相馬 商工会議所

③ 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業支援

当事業は、複数の中小企業者でグループを形成し、そのグループで復興事業計画を作成し、地域経済・雇用に重要な役割を果たすものとして県から認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備に対して補助を受けられる制度。

県への制度開始要望活動、説明会開催、申請書作成指導等当所の担当者それぞれが直接事業説明を行い、グループの組成段階から申請書の作成指導といった最終の申請段階に至るまで、グループリーダーと連携しながら支援を行うなど、数多くの相馬地域のグループ補助金制度の企画立案・案件組成に主導的な役割を果たすことを通じて、相馬地域の復旧・復興に貢献した。

・平成23年度採択を受けた当所管内グループ（平成24年3月末現在）

募集時期	採択グループ名
福島県1次募集	①相馬原釜船舶関連業グループ（7社） ②相馬市松川浦観光振興グループ（27社）
福島県2次募集	③相馬水産加工グループ（12社） ④相馬港港湾関連物流グループ（15社） ⑤相馬市連合商栄会（40社）
福島県3次募集	⑥相馬市釣船業観光振興グループ（6社）
計 6グループ（107社）	

・グループ補助金に関するおもな活動状況

日付	行事	内容	場所	出席者
平成23年 6月29日	東日本大震災に関する要望活動	斉藤県議会議員を通じ県に対しグループ補助金の早期募集開始を要望した。	相馬商 工会議 所	荒井会頭 石橋専務理事
8月26日	グループ補助 事業説明会	松川地区等の事業者に対しグループ補助金の内容および復興計画書の作成方法について説明した。	松川会 館	経営指導員他
9月2日	相馬市松川浦 観光復興グル ープ打合せ会	構成員の復興計画書の作成指導を行った。	松川会 館	経営指導員他
10月19日	復旧復興支援 事業説明会	グループ補助金の概要等の説明会 (福島県・中小企業庁共催)	相馬商 工会議 所	経営指導員他
11月7日	グループ補助 金要望活動	水産業部会としてのグループの概要について説明した。(斉藤県議同行)	福島県 庁	中澤水産業部 会長 職員1名同行
11月11日	中小企業復 旧・復興支援 制度説明会	県商工労働部に担当者を派遣依頼しグループ補助金等の概要の説明会・相談会を開催した。	相馬商 工会議 所	経営指導員他
11月11日 ～	相馬市水産流 通関連グル ープ	事業再開希望者を募り、補助金概要の説明会、復興計画書作成指導、グループのとりまとめ指導を一貫して行った。	相馬商 工会議 所	部会員 経営指導員他
11月15日	中小企業庁グ ループ補助金 現地視察	相馬市内の状況を視察	相馬商 工会議 所 および 市内	経営指導員他
～ 平成24年 3月31日	グループ補助 金全般対応	その他複数のグループ取りまとめのための復興計画書作成指導と各打合せ会出席	相馬商 工会議 所 他	経営指導員他

(9) 信用調査に関する事業 (同条第14号)

① 被災商工業者の信用調査費

該当なし

(10) 観光事業の改善発達 (同条第15号)

① 被災地域における観光客誘致事業に係る経費

<盛岡商工会議所>

事業名	復興チャリティーイベント「立ち上がろう岩手」
事業目的	東日本大震災後、自粛ムードや風評被害で東北の経済活動が停滞する中、盛岡の魅力ある伝統芸能や食文化を披露し、「元気な岩手」をPRすることを目的に実施した。
事業内容	盛岡さんさ踊り等のステージイベント、わんこそばにチャレンジ企画、ミニコンサート、三大麺（わんこそば、冷麺、じゃじゃ麺）の土産品販売のほか、災害ボランティアチーム「SAVE IWATE」による県内被災地も含めた土産品の販売とチャリティーバザーを行った。
開催日	平成23年5月3日 11時～15時
開催場所	JR盛岡駅前「滝の広場」
参加者	約3,000名

<宮古商工会議所>

被災地研修案内用チラシ印刷代、郵送代

<気仙沼商工会議所>

気仙沼観光コンベンション協会への観光客誘致事業等、活動費に対する助成
 (※同協会は震災により建物が全壊となり気仙沼駅前の観光案内所に移転。復興支援等で訪れる来街者への案内や観光客誘致事業等の活動費に対する助成。)

<福島商工会議所>

福島商工会議所女性会主催

福島駅前のシンボル花時計の運営

- ① 花時計上部にがんばりましょう福島の看板を設置
- ② 花時計の花の植え替えを継続的に実施

<いわき商工会議所>

- (1) 地元観光施設とタイアップし、「フラガール」と共に観光復興キャラバンの実施
舞浜、上田、仙台、盛岡、長野、長野、高崎、大宮、大津、千葉、横浜、水戸
- (2) 地元観光施設の再開PR

<白河商工会議所>

下記の震災復興関連のイベント開催

平成23年10月29日～30日 白河食と職の祭典

<原町商工会議所>

- (1) 南相馬市復興祭開催における新潟県三条市及び三条商工会議所との懇談会
平成24年2月18日開催 (※南相馬市復興祭は、3月18日開催)
- (2) 観光誘客復興PRタオル作成 3,000本

<相馬商工会議所>

- (1) 宿泊所案内

松川浦観光旅館組合事務所が津波被災により全壊となり、宿泊案内機能が果たせなくなったため、会議所で各旅館等の営業状況を確認、問い合わせに対応した。震災後は、復旧作業員の宿泊所が確保されたことにより、被災地のより迅速な復旧に貢献できた。

期間 平成23年4月～8月末

(2) 観光業復興支援懇談会

相馬市の基幹産業である観光関連業が、東日本大震災の津波及び原発事故により、長年かけて育ててきた貴重な観光資源に甚大な被害を受けた状況を踏まえ、一日も早い復興を促すために立ち上げた組織。

内容 市内の各旅館の再開状況や再開後の問題点などの確認
観光業支援事業案の検討や実施に向けた協議

・会議内容

回次	年月日	議題等	出席者数
1	平成23年10月6日	(1)旅館の営業状況について (2)相馬市復興計画(Ver. 1-1)について (3)今後の取り組みについて	11名
2	11月10日	(1)旅館の営業状況について (2)忘年会・新年会キャンペーンについて	13名 (内、オブザーバー2名)
3	12月12日	(1)旅館の営業状況について (2)キャンペーン事業について	9名 (内、オブザーバー2名)
4	平成24年1月12日	相馬市長講演会 テーマ名：「松川浦を中心とした海岸地区の復興計画について」	39名
5	2月20日	(1)東北観光博について (2)旅館の営業状況について (3)事業案検討について	11名 (内、オブザーバー1名)
6	3月2日	第1回ワーキンググループ会議 被災地視察研修コース案検討	7名
7	3月14日	第2回ワーキンググループ会議 被災地視察研修コース案検討	7名
8	3月23日	(1)東北観光博について (2)旅館の営業状況について (3)事業案検討結果について	9名

(3) 福島県産品及び観光振興PR事業

福島県商工会議所女性会連合会の主催で、東京都神楽坂通り商店会の「ほおずき市」に相馬商工会議所女性会が参加し、県産品の販売及び観光PRを行った。このイベントは、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響で風評被害を被っている福島県産品と観光の振興を図るために開催され、相馬松川浦の海苔を使った松川浦

青のりドレッシングや松川浦青のり佃煮、相馬みそなどを販売し相馬の観光PRを行った。

開催年月日	参加人数	開催場所
平成23年 7月20日	2名	東京都神楽坂通り
10月22日	3名	東京都神楽坂通り
平成24年 3月14日	2名	東京都「なみへい」

<須賀川商工会議所>

420年の伝統を誇る日本三大火祭り「松明あかし」は、戦国時代の戦死者を弔う行事として開催されてきたが、震災の犠牲者の追悼の意味を込め、今回は「ろうそくあかし」を同時開催し、女性会も企画運営に参画し、復旧・復興を祈念するとともに、産学官・地域住民・被災者・観光客が一体となって交流を図り、産業復興と地域活性化の契機とした。参加者 300名。

<水戸商工会議所>

風評による観光客数の減少が懸念されている中、より多くの観光客を誘致するため、「水戸の梅まつり」期間中の3月10日（310みとの日）に偕楽園を訪れた方々に、地域のPRを目的として、水戸名産品のプレゼントを行った。

また、3月25日には当所青年部が主管した第1回みとマラソン（全国各地から参加者約1,100人）の会場において、けんちん汁を配布し、賑わいづくりの一助とした。

<石岡商工会議所>

「いしおか雛巡り」における女性会のおもてなしイベント

「いしおか雛めぐり」は中心市街地の賑わいづくりを目的に例年2月中旬から3月3日まで開催。毎年、常設展示場を設置し、多数の段飾りやケース飾り、つるし雛や創作雛人形等を飾る他、中心商店街でも個々の店舗でそれぞれ、雛人形等の飾り付けを行っている。さらに、期間中の土・日曜日には、各商店会などでイベントを開催し来街者を楽しませている。

6回目を数えた今回は、上記内容の他、東日本大震災並びに原発事故に伴う風評被害で観光客が激減している現状を打破するため、実行委員会の一員である女性会が、案内所、休憩所を兼ね特産品等で「おもてなし」をして好評を得た。

期 日 平成24年2月11日～3月4日

場 所 石岡市中心商店街

主 催 いしおか元気イベント実行委員会

主な内容

- ・常設展示場の開設（段飾りやケース飾り、つるし雛や創作雛人形等の展示等）
- ・各個店での雛人形等の飾り付け（93店参加）
- ・女性会による「おもてなし」イベント（期間中4日）
- ・スタンプラリー（期間中）
- ・常陸総社宮社宝公開（常陸國総社宮）
- ・恋瀬姫の凧づくり、凧揚げ
- ・雛巡りコンサート、雛巡り寄席
- ・その他、実行委員会メンバーの各団体等でイベントを開催 など

来街者数 期間中約1万人

(11) 社会一般の福祉増進事業の実施に関する事業（同条第 16 号）

① 商工会議所会館周辺の道路環境の整備

<石巻商工会議所>

商工会議所に隣接している建物 2 棟(商工会議所所有・倉庫、会議室として利用)も大規模半壊。危険な建物であることから、12 月に建物を解体、土地の整地を行った。

② 避難された方々への炊き出しに係る経費

<気仙沼商工会議所>

(1) 北海道 森商工会議所による炊き出し

震災後間もない平成 23 年 4 月 9 日・10 日の二日に亘り、北海道 森商工会議所の伊藤会頭を隊長に、役議員等 17 名が炊き出し支援のため来市。避難所となった総合体育館や市民会館など市内 4 か所で、いか飯・ほっけのつみれ汁等 6 千食の炊き出しを行い、被災した市民やボランティアスタッフ等大勢の方々から喜ばれた。

(2) 星の絆 気仙沼イルミネーション事業の炊き出し

群馬県沼田市の実行委員会が、復興支援として気仙沼市で実施する同イルミネーション事業に合せ、トン汁等の炊き出しを当所青年部・女性会メンバーと共に実施した。

日 時 平成 24 年 3 月 3 日・3 月 10 日・3 月 16 日の 3 回

場 所 気仙沼市鹿折地区

③ 避難された方々への救援物資の支援に関する経費

<宮古商工会議所>

支援物資配布用袋代

<気仙沼商工会議所>

アイスランドからの支援物資（衣料品）の市民への配布

日 時 平成 23 年 11 月 3 日

場 所 商工会議所

来場者 市民約 500 名

<相馬商工会議所>

生活物資支援事業

① 市民向け相馬市内生活情報発信

震災発生直後の相馬市内で営業している各種事業所（スーパー、コンビニ、飲食店、小売店等）を調査し、相馬市内生活情報として、相馬商工会議所ホームページ、F A X等を通じて発信、及び相馬市への情報提供を行った。

発信期間 平成23年 3 月 25 日～4 月 6 日

発信回数 14回

② 会員向け生活物資支援

米沢商工会議所寄贈の生活支援物資（米や缶詰など）を全会員（希望者）に配布した。

配布内容 米5kg・缶詰セット

配布総数 978件

配布期間 平成23年4月14日～～6月30日

配布場所 相馬商工会議所及び各地区公民館等

④ 避難された方々や商工業者・従業員向けの集団健康診断事業に関する運営費

該当なし

⑤被災者への義援金を募る事業に係る経費

<須賀川商工会議所>

女性会では、県連合会の企画のもと、被災者への義援金を募ることを目的として、「心はひとつ福島ピンバッチ」を作成した。購入金額から原価を差し引いた金額を義援金として県連から寄附をした。

(12) 行政庁からの委託事務の実施に関する事業（同条第17号）

① 地元行政から委託を受けた震災復興に係る事業等の実施費用(自己負担分)

<釜石商工会議所>

(1) 「被災地域産業再生事業」の自己負担分

被災地の小規模な被災事業者を巻き込み、産業再生に取り組む事業経費を支援する事業

(2) 「仮設店舗支援事業」の自己負担分

東日本大震災からの早期復興を目指す小規模事業者に対して講演会を開催し、事業再開の支援を行う事業

(阪神淡路大震災の復興に携わった方による復興までのプロセス、事例紹介)

<気仙沼商工会議所>

がんばる商店街復興支援事業委託業務の実施

事業内容

① 指定商店街の共同施設等の管理運営に係る業務

② 商店街パトロール等商店街の安全安心に資する業務

③ イベント開催等商店街の明るい雰囲気づくりに資する業務、等

<郡山商工会議所>

震災復興及び東京電力福島第一原子力発電所事故に係る地元の安全・安心を首都圏にP

R

東京MXテレビ放映費等（自己負担分）

<いわき商工会議所>

- (1) 避難者買物支援緊急雇用
- (2) 市による市民イベント（避難者向けチャリティ寄席）の実施

(13) その他被災地の商工業の早期復旧に資すると認められる事業（同条第18号）

① プレミアム付商品券の発行費

<宮古商工会議所>

震災復興祈念プレミアム商品券発行に伴う費用

<気仙沼商工会議所>

1割増プレミアム商品券（気仙沼商品券）の発行
事業内容

5,000円で5,500円分の1割増商品券を、10,000セット販売。

平成24年2月1日より販売開始。

(※平成23年度～平成24年度の継続事業として実施中。)

<古川商工会議所>

- (1) 事業名 第3弾「宝の都（くに）・大崎」プレミアム商品券発行事業

地域活性化策として、大崎市の協力を得て、当所及び大崎・玉造両商工会で実行委員会を組織し、大崎市内限定で使用出来る20%割増商品券を発行することにより、東日本大震災の影響で低迷する消費者の購買意欲を喚起し、消費拡大を図り、中小小売業の振興と活性化を図った。

販売期間 平成23年9月22日～10月17日完売

販売価格 1セット10,000円×10,000セット

(1セット:商品券額面1,000円×12枚 12,000円分)

販売場所 古川商工会議所、大崎・玉造両商工会他計17ヶ所
(臨時販売場所含む)

使用期間 平成23年9月22日～12月11日

取扱加盟店 560件（古川238件、大崎156件、玉造166件）

換金申請期間 平成23年9月22日～平成24年2月15日

計9回振込

換金率 99.63%（119,556枚）

- (2) その他商品券発行に伴い、発売記念セレモニーの開催及び拡大販売を実施した。また、参加店名簿を作成配布したほか、新聞広告や事業各種チラシ・ステッカーなどを作成し、事業周知に努めた。その他、全加盟店及び一般消費者を対象にアンケート調査を実施して調査結果をまとめホームページで公表した。

以上